

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	ナショナルバイオリソースプロジェクト			担当部局庁	研究振興局		作成責任者
事業開始年度	令和4年度	事業終了 (予定)年度	令和8年度	担当課室	ライフサイエンス課		ライフサイエンス課長 金井 宏行
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	健康・医療戦略推進法 国立研究開発法人日本医療研究開発機構法			関係する 計画、通知等	「第6期科学技術・イノベーション基本計画」(令和3年3月26日閣議決定)、「統合イノベーション戦略2022」(令和4年6月3日閣議決定)、「バイオ戦略フォローアップ」(令和3年6月11日統合イノベーション戦略推進会議決定)、「生物多様性国家戦略2023-2030」(令和5年3月31日閣議決定)等		
政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応			主要経費	科学技術振興費		
施策	9-3 健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_9-3.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	国が戦略的に整備することが重要なバイオリソース(※)について、体系的な収集・保存・提供等の体制を整備し、質の高いバイオリソースを大学・研究機関等に提供することにより、我が国のライフサイエンス研究の発展に貢献することを目的とする。(※研究開発の材料としての動物・植物・微生物の系統・集団・組織・細胞・遺伝子材料等及びそれらの情報)						
現状・課題 (5行程度以内)	・我が国のライフサイエンス研究の発展のためには、その基礎・基盤となるバイオリソースを収集・保存・提供する体制を整備することが必要。 ・収集したリソースは、一度途絶えると二度と復元することができないため、確実に維持することが求められている。 ・さらに、「統合イノベーション戦略2022」(令和4年6月3日閣議決定)において、「我が国のライフサイエンス研究の発展のため、生物遺伝資源の利活用促進に向けた付加価値向上や保存技術等の開発を含めた戦略的・体系的な整備を推進」と記載されたことを踏まえて、全てのリソース機関で、利用者が求める遺伝子情報等の付加(ゲノム情報等整備)やリソースの凍結保存方法などの技術開発(基盤技術整備)を実施し、リソースを高付加価値・高品質化することで、更なるリソースの利活用を目指すことが必要。						
事業概要 (5行程度以内)	・日本全国に散在するバイオリソースを大学等の中核的拠点へ集約し、効率的なアクセスを可能にするとともに、厳格な品質管理のもと、取り違えや微生物汚染のない、実験の再現性を確保した世界最高水準のバイオリソースを研究機関に提供する。また、時代の要請に応えたバイオリソースの整備を行うため、保存技術等の開発、ゲノム等解析によりバイオリソースの高付加価値化を図っている。(①中核的拠点整備プログラム) ・あわせて、バイオリソースの所在情報や上記のゲノム情報等を提供する情報センター機能を設けている(②情報センター整備プログラム)。①、②の 両プログラムで連携を図りつつ、リソースの利活用を促進している。						
事業概要URL	https://nbrp.jp/						
実施方法	直接実施、委託・請負、補助						
補助率等	国内の研究機関等が実施する、バイオリソースの体系的な収集・保存・提供等の体制整備について、当該経費の補助を行うもの【補助率：定額】						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	1,316	1,231	1,231	1,285	1,286
		補正予算(B)	1,279	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	351	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 351	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	2,244	1,582	1,231	1,285	1,286	
	執行額(G)		2,244	1,582	1,231		
	執行率(%) =(G)/(F)		100%	100%	100%		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		86%	129%	100%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	研究開発推進費			重要政策推進枠 1百万円		
	(目)	研究開発施設共用等促進費補助金	1,247	1,248			
	(目)	科学技術試験研究委託費	35	35			
	(目)	職員旅費	1	1			
	(目)	委員等旅費	1	1			
	(目)	庁費	0.3	0.2			
		その他	0.7	1			
	計(A)		1,285	1,286			

活動内容① (アクティビティ)		大学、研究機関等を対象に実施機関(中核拠点)を公募により選定し、ライフサイエンス研究の基盤を支える実験用動物・植物・微生物等(バイオリソース)の収集・保存・提供を行うとともに、バイオリソースの付加価値向上を目指したゲノム情報等の解析や保存技術等の開発を行う。また、バイオリソースの所在情報等を提供する情報センター機能を強化する。								
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		中核拠点や情報センターの整備	中核拠点や情報センターの整備 件数	活動実績	件	28	28	30	30	30
				当初見込み	件	27	28	28	30	30
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	事業成果の初期段階としては、中核拠点や情報センターの収集・保存・提供体制等を整備することにより、日本全国に散在するバイオリソースが集約されることで、保存数が増加すると考えられることから、各中核拠点の実験動植物等の保存数(系統数等)の合計値を短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		各中核拠点の実験動植物等の保存数(系統数等)の合計値が第3期NBRP(平成24年度～平成28年度)の平均値を上回っていること。	各中核拠点における実験用動植物等(系統数等)の保存数の合計値	成果実績	件	560,602	586,659	-	-	
				目標値	件	426,982	426,982	426,982	-	
				達成度	%	131.3	137.4	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		【出典】文部科学省調べ。 令和4年度の実績値については集計中であり、令和5年度末までに確定の見込みである。 令和5年5月時点で、第4期NBRP(平成29年度～令和3年度)最終年度までのデータとなるため、目標値は第3期の平均値とした。								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	事業成果の長期段階としては、中核拠点から提供された質の高いバイオリソースが大学・研究機関等で活用されることで、我が国のライフサイエンス研究の発展に貢献すると考えられることから、その活用成果として、大学・研究機関等が、中核拠点から提供された実験動植物等を利用した成果として発表した論文数を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		大学・研究機関等が、中核拠点から提供された実験動植物等を利用した成果として発表した論文数が前年度と同程度であること。	大学・研究機関等が、中核拠点から提供された実験動植物等を利用した成果として発表した論文数	成果実績	件	1,021	999	-	-	
				目標値	件	945	1,021	999	-	
				達成度	%	108	97.8	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		【出典】NBRPリソースを使用して行われた研究の成果論文データベース(RRC:https://rrc.nbrp.jp/)より算出した。 各年度の実績値については、行政事業レビューシート作成当時の集計値であって、集計後に提供先から発表された論文が報告されることがあるため、過去の値も含め増加する場合がある。また、令和4年度の実績値については集計中であり、令和6年4月～5月頃確定の見込みである。								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名称	-								
	URL	-								
	該当箇所	-								
事業所管部局による点検・改善										
点検結果		本事業は、プログラムディレクター(PD)、プログラムオフィサー(PO)や課題評価委員会が各リソース機関に指導・助言等を行うことにより、アウトカムにおいて目標を概ね達成しており、我が国のライフサイエンス研究の発展にに寄与していると考えられる。また、書面及び現地調査により、予算が必要な経費に限定して使用されていることを確認している。□					目標年度における効果測定に関する評価(令和○年度実施)			
							-			
改善の方向性		我が国のライフサイエンス研究の発展のため、バイオリソースの付加価値を向上して利活用を促進するとともに、引き続き、効率的かつ効果的な予算執行を行っていく。								

[illegible]

※令和4年度実績

文部科学省
1,231百万円

諸謝金 0百万円
職員旅費 1百万円
委員等旅費 2百万円

ナショナルバイオリソースプロジェクトについては、中核拠点を公募により選定し、実験用動物・植物・微生物等（バイオリソース）の収集・保存・提供を行うとともに、ゲノム情報等の解析や保存技術等の開発を行う。また、バイオリソースの所在情報等を提供する情報センター機能を強化する。

【公募・補助金交付】

委託【一般競争契約（総合評価）】

A. 大学・国立研究開発法人等（全38機関）
大学共同利用機関法人情報・システム研究機構等
： 1,192百万円

B. 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構
： 35百万円

中核拠点整備やバイオリソースの系統・特性情報、ゲノム配列等の整備、保存や品質管理の技術開発、バイオリソースの所在情報や遺伝情報のデータベースの構築を実施。

ナショナルバイオリソースプロジェクトの審査・評価・課題管理・調査分析に係る支援業務を実施。

文部科学省
10百万円

C.国立研究開発法人日本医療研究開発機構： 10百万円

【公募・補助金交付】

D. 国立大学法人長崎大学
10百万円

ナショナルバイオリソースプロジェクト（中核的拠点整備プログラム）

ヒト病原ウイルスのリソース拠点の整備

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）
（単位：百万円）

A.			B.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
人件費・謝金	研究者及び研究補助者の人件費・謝金等	117	人件費	業務担当職員、補助者の人件費	20
その他	外注費（データベース維持管理等）等	86	業務実施費	消耗品購入費用、会議開催経費等	13
物品費	備品、消耗品等の購入費用	31	一般管理費	業務遂行のために必要な経費	2
管理経費	事業の管理業務に必要な経費	24			
旅費	国内旅費	7			
計		265	計		35
C.			D.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
補助金	医療分野の研究開発	10	物品費	備品の購入費用	10
計		10	計		10

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

